

# 令和元年度事業報告

令和元年度において実施した事業については、次のとおりである。

## 第1 概 要

### 1 健康診断事業の推進

住民健診・事業所健診事業について、市町村並びに協会けんぽ等との連携強化により、特定健康診査、定期健康診断、協会けんぽ健診及びドック健診の実施数が前年度比約0.3%にあたる508人減少の155,262人の実施となった。各種がん検診受診者数については、肺がん検診、胃がん検診などで大幅な減少となり、がん検診全体で前年度比約1.4%にあたる延人数4,647人の受診者数の減少となった。

また、青森県から平成29年度以降受託している大腸がん検診モデル事業については、青森市と弘前市の50歳代で過去5年間大腸がん検診未受診者を対象に便潜血検査を勧奨したところ、青森市819人、弘前市546人の応募があり2市合わせて1,365人（対象者の4.1%）の実施となった。検査の結果、要精検者は96人（7.0%）となり、令和2年度については各市町村の希望により実施することとなった。

検診車の更新については、循環器検診車1台39,960,000円の更新整備を実施した。その他施設内の医療機器では胃部集団検診X線撮影装置の更新を実施し、固定資産更新額は約1億8千7百万円となった。ここ数年の設備投資累計が巨額になっていること並びに新型コロナウイルス感染により、令和2年度の減収が予想されることから、今後の整備計画は必要最低限の更新とする。

### 2 普及啓発事業の強化

受診率の向上強化のため、40市町村中、申込のあった33市町村に受診勧奨パンフレットを168,000部作成し配布した。また、各市町村及び各事業所に精密検査の受診率向上を目的とした精検受診勧奨パンフレットを14,000部作成し配布した。その他RABまつり等さまざまなイベントに参加し、積極的な啓発・広報活動を展開した。

## 第2 通常事業

### 1 検診及び受託検査等の総括

市町村、事業所等の委託を受け、検診・検査事業を弘前大学大学院医学研究科、保健所、医師会及び医療機関の協力・指導のもとに次のとおり実施した。

前年度に比較し、検診の分野では人間ドック健診及び協会けんぽ健診が伸びているが、各種がん検診等の受診が減少したことにより、全体では4,459人の減少となった。

また、受託検査等については、細胞診の受託数が2,265人の減少となった。

検診及び検査等総括表

単位：人

年度 検診項目	令和元年度	平成30年度	増減(△減)	備考
1 特定健康診査	60,832	61,983	△ 1,151	
2 定期健康診断	69,432	69,416	16	
3 人間ドック健診	5,775	5,701	74	
4 協会けんぽ健診	19,223	18,670	553	
特定健康診査等 計	155,262	155,770	△ 508	
5 結核検診	147,422	144,329	3,093	
6 肺がん検診	88,851	90,245	△ 1,394	
7 胃がん検診	77,444	81,031	△ 3,587	
8 大腸がん検診	104,053	103,483	570	
9 子宮がん検診	39,168	39,405	△ 237	
10 乳がん検診	24,540	24,245	295	
11 前立腺がん検診	21,815	22,109	△ 294	
12 学校心臓検診(心電図検査)	10,324	10,560	△ 236	
13 骨密度測定検診	9,680	9,532	148	
14 腹部超音波健診	11,463	11,401	62	
15 特定保健指導	2,376	2,482	△ 106	
がん検診等 計	537,136	538,822	△ 1,686	
16 細胞診受託検査	26,206	28,471	△ 2,265	
受託検査等 計	26,206	28,471	△ 2,265	
総延人数	718,604	723,063	△ 4,459	

## 2 各種検診、検査等別実施状況

### (1) 特定健康診査

健診車5台、機器運搬車7台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は 60,832人で、そのうち要精検は 12,289人（20.2%）、医療継続は36,845人（60.6%）、要指導10,665人（17.5%）となった。

#### 特定健康診査実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		医療継続		要指導		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
出張検診	市町村	52,131	10,058	19.3	32,755	62.8	8,583	16.5	604	86
	社保等	3,509	836	23.8	1,546	44.1	977	27.8		6
センター	市町村	4,029	1,124	27.9	2,174	54.0	670	16.6	64	63
	社保等	938	217	23.1	292	31.1	357	38.1	152	6
健管センター	社保等	225	54	24.0	78	34.7	78	34.7	135	2
合計		60,832	12,289	20.2	36,845	60.6	10,665	17.5	955	64

### (2) 定期健康診断

事業所の従業員等を対象にコース別に実施した。

Aコースで13,112人、Cコースで 45,066人、その他のコースで 11,254人の計69,432人が受診し、受診者の21.9%に当たる 15,225人が要精検となり、39.5%に当たる27,429人が要指導となった。

Aコース 34歳以下の者及び36歳以上39歳以下の者を対象とする。

(胸部X線撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診)

Cコース 35歳の者及び40歳以上の者を対象とする。

(胸部X線撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診・心電図検査・貧血検査・血糖検査・肝機能検査・血中脂質検査)

その他のコース 簡易健康診断等

#### 定期健康診断実施状況

方式別	実施人員				要精検		要指導		実施日数	一日当り 実施人員
	Aコース	Cコース	その他の コース	計	人員	率	人員	率		
出張検診	9,035	29,815	9,863	48,713	10,776	22.1	18,427	37.8	656	74
センター	2,407	9,463	1,053	12,923	2,820	21.8	5,423	42.0	226	57
健康管理センター	1,670	5,788	338	7,796	1,629	20.9	3,579	45.9	334	23
合計	13,112	45,066	11,254	69,432	15,225	21.9	27,429	39.5	1,216	57

### (3) 人間ドック健診

#### ア. 一日ドック簡易コース

各事業所の委託を受け前年度 548人より7人減少の 541人に実施し、36.6%に当る198人が要精検となり、28.4%に当る 156人が要指導となった。

#### イ. 一日ドック標準コース

各事業所の委託を受け前年度 3,847人より54人増加の3,901人に実施し、34.9%に当る 1,362人が要精検となり、25.1%に当る980人が要指導となった。

#### ウ. 二日コース

各事業所の委託を受け前年度 98人より5人増加の 103人に実施し、36.9%に当る38人が要精検となり、18.4%に当る 19人が要指導となった。

#### エ. その他のコース

各事業所の委託を受け前年度 1,208人より22人増加の 1,230人に実施し、32.7%に当る 402人が要精検となり、20.9%に当る 257人が要指導となった。

○人間ドック健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	ドックセンター	健管センター	合計
肺がん検診	5,142	583	5,725
胃がん検診	4,592	489	5,081
大腸がん検診	5,038	567	5,605
子宮がん検診	1,576		1,576
乳がん検診	1,950		1,950
前立腺がん検診	2,921	374	3,295
腹部超音波健診	5,167	584	5,751
骨密度測定検診	2,191		2,191

### (4) 協会けんぽ健診

全国健康保険協会の委託を受けセンター 4,841人、附属あおもり人間ドックセンター833人、附属あおもり健康管理センター13,549人、計19,223人実施し、前年度18,670人より553人増加となった。

○協会けんぽ健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	センター	ドックセンター	健管センター	合計
結核検診	4,639	644	13,488	18,771
胃がん検診	3,272	471	10,718	14,461
大腸がん検診	4,177	801	12,827	17,805
子宮がん検診	289		811	1,100
乳がん検診	214		619	833
腹部超音波健診（付加）	126	50	213	389

### (5) 結核検診

検診車11台による出張検診とセンター診療所で、原則として65歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村（一般住民）52,886人、事業所 67,368人、学校関係 16,569人（高校生 10,241人、大学生 5,352人、その他 976人）施設 10,599人、計 147,422人で、前年度よりも 3,093人の増加となった。

なお、受診者 147,422人中 1.7%の 2,447人が要精検となった。

## 結核検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員
			人員	率		
出張検診	市町村	49,681	273	0.5	724	69
	事業所	31,784	565	1.8	601	98
	学校関係	16,548	188	1.1		
	施 設	10,599	777	7.3		
	小計	108,612	1,803	1.7	1,325	82
センター	市町村	3,205	0	0.0	64	50
	事業所	14,471	280	1.9	226	64
	学校関係	21	0	0.0		
	施 設	0	0	0.0		
	小計	17,697	280	1.6	290	61
健管センター	事業所	21,113	364	1.7	341	62
合 計	市町村	52,886	273	0.5	788	67
	事業所	67,368	1,209	1.8	1,168	81
	学校関係	16,569	188	1.1		
	施 設	10,599	777	7.3		
			147,422	2,447	1.7	1,956

## (6) 肺がん検診

原則として40歳以上の者を対象とするX線撮影をベースとし、50歳以上のハイリスク者には喀痰細胞診検査を併せて実施した。

ア. X線撮影	受診者は市町村(一般住民) 67,623人、事業所 20,653人、事業所(C T) 575人の計 88,851人で、2.4%に当る 2,091人が要精検となった。
イ. 喀痰細胞診検査	受診者は市町村(一般住民) 976人、事業所 1,183人の計2,159人で、その 0.3%に当る 6人が要精検となった。

## 肺がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員	
			人員	率			
X線撮影	出張検診	市町村	62,581	1,575	2.5	692	90
		事業所	12,863	164	1.3	245	53
		小 計	75,444	1,739	2.3	937	81
	センター	市町村	5,042	131	2.6	64	79
		事業所	2,307	34	1.5	158	15
		小 計	7,349	165	2.2	222	33
	ドックセンター	事業所	4,586	87	1.9	208	22
	健管センター	事業所	897	22	2.5	185	5
		市町村	67,623	1,706	2.5	756	89
		事業所	20,653	307	1.5	796	26
		小 計	88,276	2,013	2.3	1,552	57

X線撮影(CT)	ドックセンター	事業所	556	70	12.6	201	3	
		事業所(二次)	19	8	42.1			
	小計	575	78	13.6				
X線撮影		市町村	67,623	1,706	2.5	756	89	
		事業所	21,228	385	1.8	997	21	
		合計	88,851	2,091	2.4	1,753	51	
喀痰検査		出張検診	市町村	943	6	0.6	692	1
			事業所	467	0	0.0	245	2
			小計	1,410	6	0.4	937	2
		センター	市町村	33	0	0.0	64	1
			事業所	123	0	0.0	158	1
			小計	156	0	0.0	222	1
		ドックセンター	事業所	446	0	0.0	173	3
		健管センター	事業所	147	0	0.0	94	2
		合計	市町村	976	6	0.6	756	1
			事業所	1,183	0	0.0	670	2
			合計	2,159	6	0.3	1,426	2

#### (7) 胃がん検診

検診車8台とセンター診療所で、原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 45,498人、事業所 31,946人の計 77,444人で、7.3%に当る5,637人が要精検となった。

#### 胃がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り 実施人員	
			人員	率			
X線撮影	出張検診	市町村	42,017	3,369	8.0	1,132	37
		事業所	9,075	539	5.9	334	27
		小計	51,092	3,908	7.6	1,466	35
	センター	市町村	3,481	269	7.7	130	27
		事業所	6,068	311	5.1	414	15
		小計	9,549	580	6.1	544	18
	ドックセンター	事業所	3,315	236	7.1	210	16
	健管センター	事業所	12,211	790	6.5	329	37
	合計	市町村	45,498	3,638	8.0	1,262	36
		事業所	30,669	1,876	6.1	1,287	24
			76,167	5,514	7.2	2,549	30
	内視鏡検査(ドックセンター)		事業所	1,277	123	9.6	199
合計		市町村	45,498	3,638	8.0	1,262	36
		事業所	31,946	1,999	6.3	1,486	21
		77,444	5,637	7.3	2,748	28	

#### (8) 大腸がん検診

原則として、40歳以上の者を対象にS P I A法による免疫便潜血検査(2日法)で実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 65,589人、事業所 38,464人の計 104,053人で、5.1%に当る5,348人が要精検となった。

大腸がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	60,861	3,501	5.8
	事業所	11,229	448	4.0
	小計	72,090	3,949	5.5
センター	市町村	4,728	240	5.1
	事業所	7,531	306	4.1
	小計	12,259	546	4.5
ドックセンター	事業所	5,006	203	4.1
健管センター	事業所	14,666	646	4.4
合計(便潜血検査)	市町村	65,589	3,741	5.7
	事業所	38,432	1,603	4.2
		104,021	5,344	5.1
内視鏡検査(ドックセンター)	事業所	32	4	12.5
合計	市町村	65,589	3,741	5.7
	事業所	38,464	1,607	4.2
		104,053	5,348	5.1

(9) 子宮がん検診

検診車2台とセンター診療所で、原則として隔年で20歳以上を対象とする子宮頸がん検診をベースとし、40歳以上、最近6ヶ月以内に不正性器出血症状があった者のうち、医師が判断して本人の同意を得た者には子宮体がん検診を実施した。

子宮頸がん検診受診者は、市町村(一般住民) 34,561人、事業所 4,607人の計 39,168人で、受診者の 2.0%に当る 783人が要精検となった。

子宮体がん検診は、頸がん検診受診者 39,168人の 0.5%に当る 185人に実施した。

子宮がん検診実施状況

1) 子宮頸がん検診

方式別	区分	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率		
出張検診	市町村	18,306	229	1.3	277	66
	事業所	464	12	2.6	10	46
	小計	18,770	241	1.3	287	65
センター	市町村	1,736	17	1.0	56	31
	事業所	1,260	34	2.7	18	70
	小計	2,996	51	1.7	74	40
ドックセンター	事業所	1,576	37	2.3	103	15
健管センター	事業所	1,307	21	1.6	39	34
日母検診	市町村	14,519	433	3.0		
合計	市町村	34,561	679	2.0	333	
	事業所	4,607	104	2.3	170	
		39,168	783	2.0	503	

2) 子宮体がん検診

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	4	0	0.0
日母検診	市町村	181	2	1.1
合計	市町村	185	2	1.1

## (10) 乳がん検診

検診車3台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として隔年で40歳以上を対象に実施した。

実施方法は、40～59歳はマンモグラフィ2方向撮影、60歳以上はマンモグラフィ1方向撮影とした。

受診者は、市町村(一般住民) 20,398人、事業所 4,142人の計 24,540人で、6.1%に当る1,505人が要精検となった。

### 乳がん検診実施状況

方式別	区分	方法	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
				人員	率		
出張健診	市町村	X線	18,310	1,053	5.8	286	64
		X線	269	19	7.1		
	計	18,579	1,072	5.8	303	61	
センター	市町村	X線	2,088	151	7.2	57	37
		X線	843	65	7.7		
	計	2,931	216	7.4	130	23	
ドックセンター	事業所	超音波	480	24	5.0	122	超音波
		X線	28	0	0.0		16
		超音波+X線	1,442	138	9.6		X線
		計	1,950	162	8.3		12
健管センター	事業所	X線	1,080	55	5.1	100	11
合計	市町村	X線	20,398	1,204	5.9	312	超音波
		超音波	480	24	5.0		16
	事業所	X線	2,220	139	6.3		X線
		超音波+X線	1,442	138	9.6		12
合計		超音波	480	24	5.0	655	超音波
		X線	22,618	1,343	5.9		16
		超音波+X線	1,442	138	9.6		X線
		計	24,540	1,505	6.1		37

## (11) 前立腺がん検診

原則として、50歳以上の男性を対象に実施した。受診者は、市町村 11,772人と事業所 10,043人の計 21,815人で、5.2%に当る1,126人が要精検となった。

### 前立腺がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	11,741	744	6.3
	事業所	4,208	192	4.6
	小計	15,949	936	5.9
センター	市町村	31	2	6.5
	事業所	756	34	4.5
	小計	787	36	4.6
ドックセンター	事業所	2,921	71	2.4
健管センター	事業所	2,158	83	3.8
合計	市町村	11,772	746	6.3
	事業所	10,043	380	3.8
		21,815	1,126	5.2



(12) 学校心臓病検診(心電図検査)

受診者は 10,324人で、要精検は 1.9%の 192人、要観察は 0.9%の 94人となった。

学校心臓病検診実施状況

	実施人員	要 精 検		要 観 察		合 計		実施日数	1日当り 実施人員
		人員	率	人員	率	人員	率		
小学校	5,125	99	1.9	56	1.1	155	3.0	66	127
中学校	3,277	47	1.4	25	0.8	72	2.2		
高等学校	1,752	41	2.3	12	0.7	53	3.0	16	110
大 学	170	5	2.9	1	0.6	6	3.5	3	57
合 計	10,324	192	1.9	94	0.9	286	2.8	85	121

(13) 骨密度測定検診

D X A法(前腕骨骨塩量測定)及び超音波法(踵骨骨量測定)で実施した。

ア. D X A法……………市町村(一般住民) 4,649人、事業所 958人、ドック2,191人の計 7,798人で、受診者の 8.1%に当る 628人が要精検となり、15.4%に当る 1,200人が要指導となった。

イ. 超音波法……………市町村(一般住民) 1,213人、事業所 285人、若年者 384人の計 1,882人で、受診者の 9.0%に当る 169人が要精検となり、31.9%に当る600人が要指導となった。

骨密度測定検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		要指導		合計		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
D X A法	市町村	4,649	538	11.6	918	19.7	1,456	31.3	69	67
	事業所	958	36	3.8	104	10.9	140	14.6	11	87
	ドック	2,191	54	2.5	178	8.1	232	10.6	198	11
	小計	7,798	628	8.1	1,200	15.4	1,828	23.4	278	28
超音波法	市町村	1,213	123	10.1	498	41.1	621	51.2	29	42
	事業所	285	41	14.4	89	31.2	130	45.6	4	71
	若年者	384	5	1.3	13	3.4	18	4.7	5	77
	小計	1,882	169	9.0	600	31.9	769	40.9	38	50
合 計	市町村	5,862	661	11.3	1,416	24.2	2,077	35.4	98	60
	事業所	1,243	77	6.2	193	15.5	270	21.7	15	83
	ドック	2,191	54	2.5	178	8.1	232	10.6	198	11
	若年者	384	5	1.3	13	3.4	18	4.7	5	77
		9,680	797	8.2	1,800	18.6	2,597	26.8	316	31

※ただし、若年者は再検査として分類をしているが要精検者として計上した。

(14) 腹部超音波健診

各事業所等から委託を受け、11,463人に実施し、その10.2%に当る1,164人が要精検となった。

腹部超音波健診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検	
			人 員	率
出張検診	市町村	357	42	11.8
	事業所	1,544	109	7.1
	小 計	1,901	151	7.9
センター	市町村	0	—	—
	事業所	805	96	11.9
	小 計	805	96	11.9
ドックセンター	事業所	5,167	459	8.9
健管センター	事業所	3,590	458	12.8
合 計	市町村	357	42	11.8
	事業所	11,106	1,122	10.1
		11,463	1,164	10.2

(15) 特定保健指導

各市町村及び各医療保険者との委託契約のもと、40～74歳までの者を対象に実施した。  
受診者は、動機づけ支援 1,286人、積極的支援 1,196人の計 2,482人となった。

腹 囲	追加リスク		対 象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧	喫 煙	40～64歳	65～74歳
男性85cm以上 女性90cm以上	2つ以上該当	あり	積極的支援	動機づけ支援
	1つ該当	なし		
上記以外で BMI 25以上	3つ該当	あり	積極的支援	動機づけ支援
	2つ該当	なし		
	1つ該当			

特定保健指導実施状況

	動機づけ支援	積極的支援	計
市町村	469	193	662
社保等	812	902	1,714
合 計	1,281	1,095	2,376

(16) 細胞診受託検査

県立中央病院などの各国公立病院及び関係医療機関からの委託を受け、婦人科、呼吸器科、体腔液及びその他の細胞診検査を 26,206件実施し、前年度よりも 2,265件の減少となった。

細胞診検査(部位別)実施状況

		陽 性	疑陽性	陰 性	判定不能	合 計
婦 人 科	膣 頸 部	61	1,511	19,869	52	21,493
	体 部	35	176	3,755	187	4,153
	そ の 他	4	6	97	8	115
	小 計	100	1,693	23,721	247	25,761
呼吸器科	喀 痰	1	6	59	48	114
	気 管 支	19	14	58	1	92
	小 計	20	20	117	49	206
体 腔 液	腹 水	4	2	8	0	14
	胸 水	10	5	21	0	36
	小 計	14	7	29	0	50

そ の 他	泌 尿 器	2	13	147	15	177
	乳 腺	0	0	5	0	5
	甲 状 腺	0	0	0	0	0
	消 化 器	1	0	1	0	2
	そ の 他	3	1	1	0	5
	小 計	6	14	154	15	189
合 計		140	1,734	24,021	311	26,206
前 年 度		173	1,725	26,213	360	28,471

### 第 3 県からの委託事業の実施

#### 令和元年度青森県生活習慣病検診従事者指導講習会

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| (1) 大腸がん検診従事者指導講習会  | (年1回)  |
| 中止                  |        |
| (2) 肺がん検診読影従事者指導講習会 | (年1回)  |
| 令和2年2月28日           | 参加者30名 |
| (3) 乳がん検診従事者指導講習会   | (年1回)  |
| 令和2年2月21日           | 参加者32名 |
| (4) 胃がん検診読影従事者指導講習会 | (年1回)  |
| 中止                  |        |

### 第 4 普及啓発事業

#### 1 各種検診等の広報普及活動の推進

がん征圧月間、結核予防週間、ピンクリボン月間、生活習慣病予防月間等の周知を図るため、各種保健衛生関連事業に協賛し、地元の新聞、テレビ、ラジオにより広告を行った。

#### 2 普及宣伝資材の購入等

- (1) 結核、がん、生活習慣病等の予防及び健康の保持・増進に関する啓発資料を作成又は購入し各健康まつり、各検診会場で配布した。
- (2) 結核予防会の広報誌「複十字」及び「日本対がん協会報」を定期購入し関係機関等へ配布した。
- (3) 当センター広報誌「やすらぎ青森」を年2回発行し、関係機関等へ延べ1,000部配布した。

#### 3 予防啓発の月間・週間の行事

- (1) 結核予防、がん征圧等の運動、啓発強化を目的として、月間及び週間のPRのため、ポスター・チラシ等の配布を実施した。

がん征圧月間	( 9月 1日～9月30日 )
結核予防週間	( 9月24日～9月30日 )
生活習慣病予防月間	( 2月 1日～2月28日 )
- (2) 市町村等が実施する結核、がん又は生活習慣病の予防啓発事業、健康まつり等に参加協力し、パネル等を展示した。
- (3) 令和元年9月7日～8日に結核予防、がん征圧等の運動、啓発事業の一環として「RABまつり」へ参加した。

## 4 生活習慣病等集団検診従事者研修会

令和2年2月7日 青森市において市町村及び事業所の保健師等を対象に参加者147名を招き研修会を開催した。

## 第5 検診等協力団体への活動支援

### 1 青森県結核予防婦人会

(1) 複十字シール運動街頭募金を結核予防週間期間にあわせて9月21日に青森市内3ヶ所で開催した。

### 2 青森県よろこびの会(がん克服者の会)

令和元年7月11日 八戸市において参加者36名で総会並びに研修会を開催した。

## 第6 募 金 活 動

1. 結核予防事業の普及啓発及び資金造成のため、青森県結核予防婦人会、その他関係団体の協力を得て、複十字シール運動の募金活動を次のとおり展開した。

- |          |              |
|----------|--------------|
| (1) 運動期間 | 令和元年8月～12月   |
| (2) 目標額  | 3, 500, 000円 |
| (3) 募金額  | 1, 559, 483円 |

2. がん予防事業の普及啓発及びその資金造成のため、会員制による募金運動を次のとおり実施した。

- |          |              |
|----------|--------------|
| (1) 運動期間 | 令和元年9月～2年3月  |
| (2) 目標額  | 2, 000, 000円 |
| (3) 募金額  | 2, 065, 450円 |

個人会員(205人) 1, 085, 450円、法人会員(92法人) 980, 000円

## 第7 理事会・評議員会・評議員選定委員会の開催

### 1 理事会

令和元年6月7日	決算の確定を目的
令和元年6月25日	役員理事の選定を目的
令和2年3月6日	次年度事業計画及び予算の確定を目的

### 2 評議員会

令和元年6月25日	決算の確定を目的
令和2年3月23日	次年度事業計画及び予算の確定を目的

### 3 評議員選定委員会

令和元年5月17日	評議員の選任を目的
令和元年9月25日	評議員の選任を目的

## 第8 会議・研修会の開催及び参加

### 1 県内の会議等

乳がん検診画像読影委員会	令和2年1月21日
前立腺がん検診精度管理委員会	令和2年1月29日
骨密度(骨粗鬆症)検診判定委員会	令和2年2月4日

特定健康診査等判定検討委員会	令和2年2月6日
胃がん検診読影委員会	令和2年2月26日
腹部超音波健診読影委員会	令和2年2月26日
子宮がん検診管理指導委員会	令和2年2月27日
大腸がん検診指導管理委員会	令和2年3月5日（中止）
健診従事看護師研修会	令和2年3月13日（中止）
循環器健診従事医師打合せ会議	令和2年3月18日（中止）
肺がん検診読影委員会	令和2年3月24日（中止）

## 2 県外の会議等

- (1) 結核予防会関係
- |                      |          |
|----------------------|----------|
| 結核予防全国大会             | (静岡県) 中止 |
| 事務局長研修会並びに全国支部事務連絡会議 | (東京都)    |
| 東北・北海道ブロック会議         | (岩手県)    |
- (2) 日本対がん協会関係
- |              |       |
|--------------|-------|
| がん征圧全国大会     | (愛媛県) |
| 全国事務局長会議     | (東京都) |
| 東北・北海道ブロック会議 | (山形県) |

## 第9 主たる学会の参加

日本消化器がん検診学会	(岡山県)
日本消化器がん検診学会東北地方会	(秋田県)
東北地区集検放射線技術部会	(山形県)
日本乳癌検診学会	(福井県)
日本臨床細胞学会（春期大会）	(東京都)
日本臨床細胞学会（秋期大会）	(宮城県) 中止
細胞検査士教育セミナー	(神奈川県)
日本超音波医学会東北地方会	(山形県)